




前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和5年度学校だより
No.16 3月第3号
令和6年3月22日(金)

今を変えれば 未来が変わる

This Year has Ended. The New Year will Start Soon!!

令和5年度が本日をもって終了しました。昨年度より1日少なく、全部で199日の登校日がありました。単に約200日と言いますが、これを6年間続けると、約1,200日学校に通うことになります。三日前には6年生が卒業したばかりですが、本当によく通い詰めました。大人たちがみんな通ってきた道とは言いながら、小学校を卒業するということは、あらためて大偉業を成し遂げることなのだ、思いを今新たにしています。

それにしても、小学生の好奇心の旺盛さと吸収力には、凄まじいものがあることを実感しています。経験をすればただ自分の糧とし、みるみるうちに成長していきます。そういう意味でも、与えられた時間の中でどれだけ印象に残る体験をさせられるかが、教師に課された役割だと思います。前渡小を母体としつつ、非日常を感じられる異空間にも足を運んで未知の世界の刺激を肌で感じさせ、いつの間にかの一人ひとりの自分磨きにつなげられれば…、と思い直しています。

保護者の皆様、あらためまして日々の教育活動に御支援・御協力を賜りまして誠にありがとうございました。お陰様で、無事、年度末を迎えることが出来ました。深謝申し上げます。



今年の春の訪れは、昨年よりも早いものだと思いますが、ここに来て少し足踏みをしているようです。一年前の3月22日には「七福ざくら」も既に蕾を膨らませ、花の咲き始めた枝もありましたが、今年は、開花までに、もう幾ばくかの時間が必要なようです。卒業式が終わった今、校庭の桜の木々には、できることならもう少しだけ今のままでいていただいて、入学式の当日を、春うらかな陽気で包んでほしいと願っています。

* * *

左の写真は6年生が卒業する四日前の写真です。休み時間の校庭はいつもエネルギーに満ちあふれています。たまに校庭に出てみると、その活力あふるる元気のよさが波動となって伝わってくるのを感じます。

時間の使い方は人それぞれですが、ときには外に出て、お天道様の陽射しを全身に浴びながら子どもたちを眺めていたいと思えた今年度末でした。